

西中田小学校PTA「おおっ！とうちゃんの会」は
あなたを待っています。

- 活動の紹介・1999年一時保存版 -

西中田小学校PTA「おおっ！とうちゃんの会」 アクセル・ペダル踏みっぱなしです！

「おおっ！とうちゃんの会」は動き出す

「ほんと、とにかく、やってみましょう。」と誰かが言い出したはずです。その言い出しっぺが誰だかわからないほど、「おおっ！とうちゃんの会」は子供を持っている親が待望していた組織だと言っても言い過ぎではありません。

父ちゃんもがんばれ

私たちの西中田地区は、これまでの田や畑に囲まれたのどかな風景から、急激に都市化が進んでいる地域です。アパートやマンションがたくさんでき、他の地域からたくさんの方がこの地区に集まってきました。それだけに、地域をどうつくっていくのかを、真剣に考えなければならない時期が来たとみんなが考え始めました。子どもたちをめぐる環境もしっかりというわけです。昨今の大人と子どものコミュニケーションをどう作っていくのか。もう、誰もが考えを止めるわけには行かないほど、危機感をもっていたのです。

足下を見つめてみると、この西中田地区はPTAなどの活動が女性を中心に行われています。男性の保護者を、「おとうさんを」「パパを」「おやじを」なんとか活動に誘い込めむ必要がありました。そのためのプロジェクトはPTAの組織でありながら「やわらかい組織で、今の子どもたちに接していく」ことのできるものでなければとかがえました。単に保護者との遊びの場の提供だけでなく、広く地域のいろいろな大人と子どもがふれあうことのできるような、保護者が一緒にこられなければ知り合いの別の家族に便乗したり、中学生が付き添ってきたりという、縦にも横にも広がりを持つ組織でなければという夢を形にしたいと思いました。

ネーミング

こうして1997年6月にできあがったのが、「おおっ！とうちゃんの会」です。ネーミングの『おおっ！』は「おとうさん頑張ってるね」の励ましの接頭語であり、「お父さんすてきに活動しているねっ！」の感嘆の接頭語であり、「おとうさん、ごくろうさん」の慰労の言葉です。

おおっ！とうちゃんの会

ミニ四駆は熱気ムンムン

さあ、会はできたものの、具体的には何をどうやって企画していくのかが、お父さんたちにはわかりません。とにかく、「子どもたちに一番人気があって、大人も熱中できることで遊ぼう」と考えついたのが、第1回の「ミニ四駆であそぼう」(97年6月)と題したミニ四駆大会でした。どこでもやっているコースは面白くないと、夜な夜な集まってきては、コースなどの試作を繰り返す。お父さんたちの間で、最初にブームが起きたという話も聞きました。

当日、外はあいにくのどしゃ降りの中ではありましたが、参加者は時間前から駆けつけ、受付を30分繰り返しても追いつかないほど、体育館の中は30

0名に達する参加者でムンムンと熱気があふれておりました。競技中は、子どもたちの歓声の声や保護者の方々の応援の声が響きわたっておりました。当日の実行委員のお父さん方の汗を流しての大奮闘は、PTAの活動にまた新しいページが開かれたと、誰もが感じました。この第1回の成功で、自分たちの手で子どもとふれあう機会を作り出すことができると、父さんたちは自信を深めました。

アウトドアからパソコンまで

近くを流れる名取川の流域を利用した第2回目の企画「オリエンテーリング」(97年11月)に続いて開かれたのが、第3回のイベント「コンピュータをあそぼう！」(98年2月)です。

「コンピュータのことなら、お父さんにまかせておけっ！」お父さんたちの得意な顔ったらありませんでした。何しろ、あっちこっちを走り回って、コンピュータを30台近く集めてきてしまう。ホームページを作ったり、作曲までコンピュータでやっつけてしまおうという企画でした。参加者は、自分の家族のホームページができた。インターネットで公開できたと有頂天でした。また、これを機会に、コンピュータの通信を利用したお父さん達の新しいコミュニティが生まれたことは、うれしい副産物でした。もちろん、このときから、おおっ！とうちゃんの会ホームページ{ <http://www4.justnet.ne.jp/oh-papa/> }も公開され、今では小学校だけでなく中学校や町内会など地域のさまざまな情報を発信する情報センターの役割を続けています。

謎の男たちの企画会議

お父さんたちの活動は、集まりやすい休日の夜など。近くの集会所、飲食店、会員の店まで占領してしまいます。時には真夜中まで打ち合わせが続くこともあります。

2年目を迎えた98年度の第1弾は「おとうさんの伊太飯屋」(98年7月)と題し、イタリア料理を作って、おかあさん方に『ゴマをすろう』という密かな企画を立ててしまいました。当日は、小学校の調理実習室を解放してもらい、なれない包丁さばき、汗を拭き拭き、の料理実習会。インテリアも凝って、おかあさん方の感激を引き出しました。イベント毎に少しずつ増えていく世話人たち、学校側の理解とPTA会員の協力に支えられていることも、おおっ！とうちゃんの会の活動を力づけています。

止まらない列車のように次々と

昨年秋、お父さんたちは、もっとすごいことをやってのけました。それは、八乙女小との共同企画「親と子のミステリートレイン」(98年11月)です。もちろん、ミステリーですから内容は秘密。企画会議は蟻をも漏らさぬ体制。当日、親と子はなんとも不思議な格好をしたお父さんたちに「指令」をもらって謎解きの旅に出ました。

今年も新しい企画におとうさんたちは、胸がどきどきしています。

もし、西中田地域で、顔を輝かせているお父さんたちがいたら、おおっ！とうちゃんの会に、何らかの関わりを持っている人かなと、思って間違いではないかも知れません。

やわらかいネットワークをめざして

さて、この会が活動していく中で、仙台市内では、すでに歴史のある「おやじの会」や「お父さんの会」があり、また、これから作りたいあるいは本格的に活動していきたいと意欲のあるグループもあることを知り、同じ考えのお父さんがたくさんいると、ますます心強く思っておりました。そこで、すでに活動している「おやじ」の方々に集ってもらい、活動の経験やら、これからの意欲やらを話してもらえれば、私たちも含めて「お父さんの会」の活動がより活発になるのではと考え、98年9月に、それぞれの組織を大切に「お父さんの背中のような幅広い、やわらかいネットワーク」ができあがりました。

おとうさんたちの眠れない夜は当分続きそうです。

あなたも「おおっ！とうちゃんの会」のメンバーです。

西中田小学校に児童を送り出しているあなたなら、すでに、もう「おおっ！とうちゃんの会」のメンバーです。特別に手続きはいりません。西中田小学校以外の方でも、西中田の地域の方で活動に賛同していただけるなら「おおっ！とうちゃんの会」のメンバーです。活動に参加するのはいたって簡単です。Aさんを例にとって紹介しましょう。



